

県民提案の状況

(令和3年度受理分)

福島県総務部県民広聴室

令和3年度 県民提案の受付状況について

(集計期間：令和3年4月1日～令和4年3月31日)

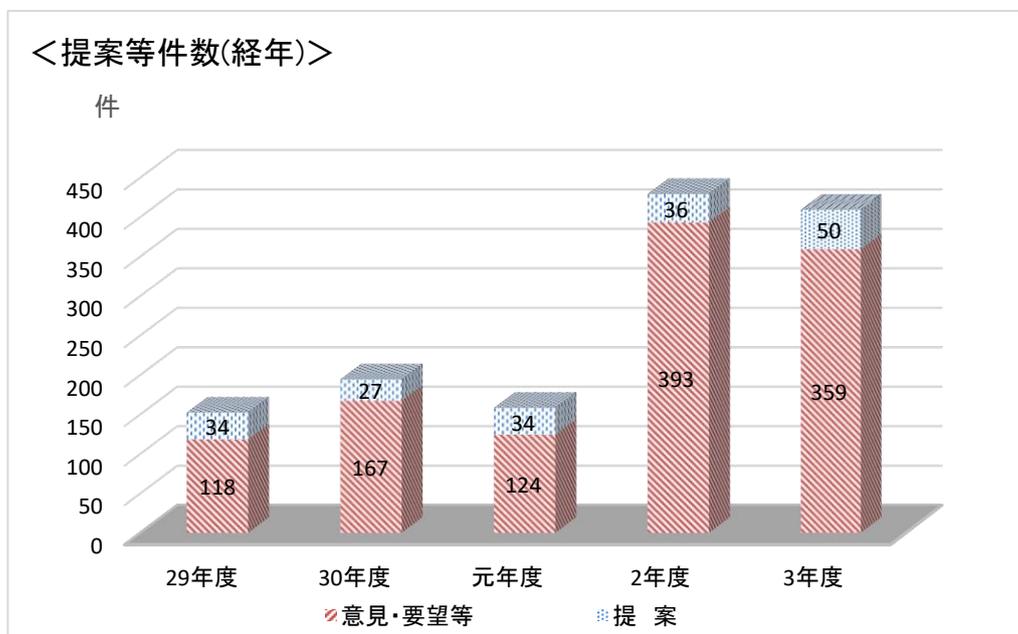
1 提案等件数

(1) 経年データ（平成29年度～令和3年度）

令和3年度の県民提案制度を活用した提案件数は50件で、前年度より14件増加した（前年比138.8%）。県民提案以外（意見・要望等）は359件寄せられた。

(単位：件)

区分	平成・令和 29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	前年比
提案	34	27	34	36	50	138.9%
意見・要望等	118	167	124	393	359	91.3%
合計	152	194	158	429	409	95.3%

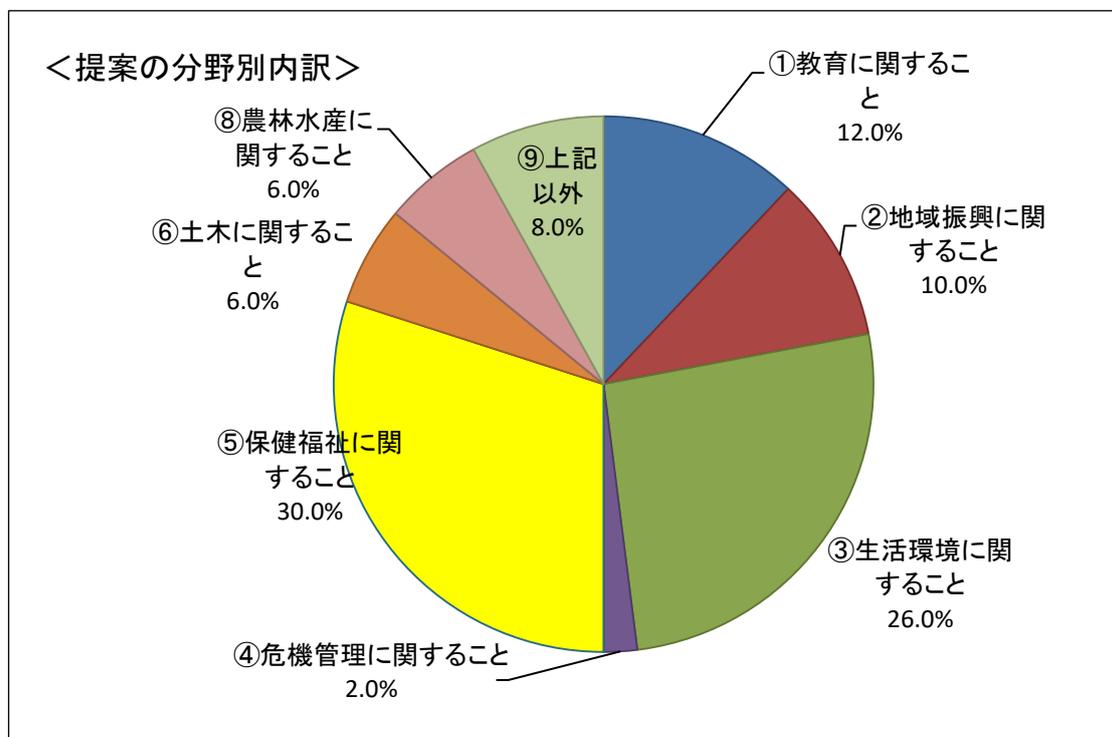


(2) 分野別の提案状況

県民提案の分野別提案状況は下記のとおりである。

(単位:件)

提案内容	件数	構成比
①教育に関すること	6	12.0%
②地域振興に関すること	5	10.0%
③生活環境に関すること	13	26.0%
④危機管理に関すること	1	2.0%
⑤保健福祉に関すること	15	30.0%
⑥土木に関すること	3	6.0%
⑦商工労働に関すること	0	0.0%
⑧農林水産に関すること	3	6.0%
⑨上記以外	4	8.0%
合計	50	100.0%



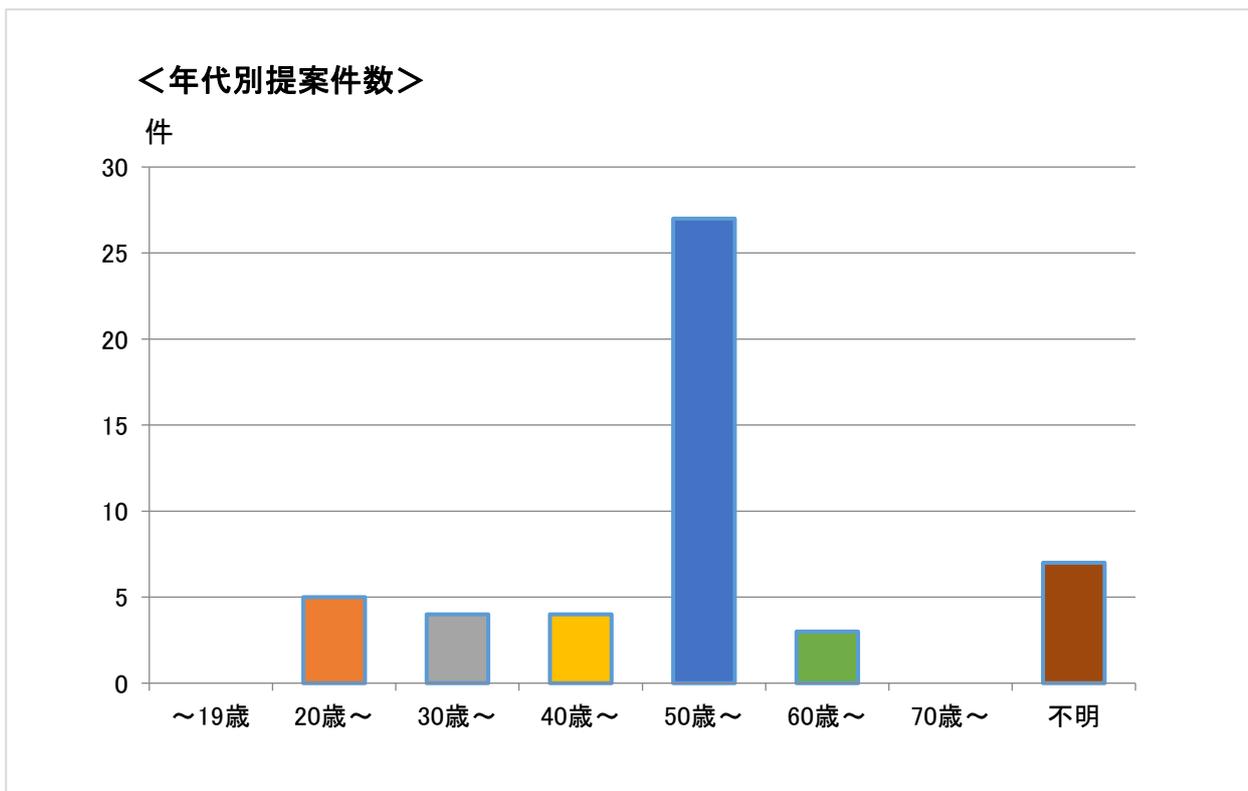
2 年代別の提案状況

提案者を年代別に見ると、50歳代が27件*で最も多くなっており、次いで年齢不明が7件、20歳代が5件であった。

(※：50歳台27件中13件は同一人物からの提案)

(単位：件)

	～19歳	20歳～	30歳～	40歳～	50歳～	60歳～	70歳～	不明	計
件数	0	5	4	4	27	3	0	7	50
構成比	0.0%	10.0%	8.0%	8.0%	54.0%	6.0%	0.0%	14.0%	100.0%



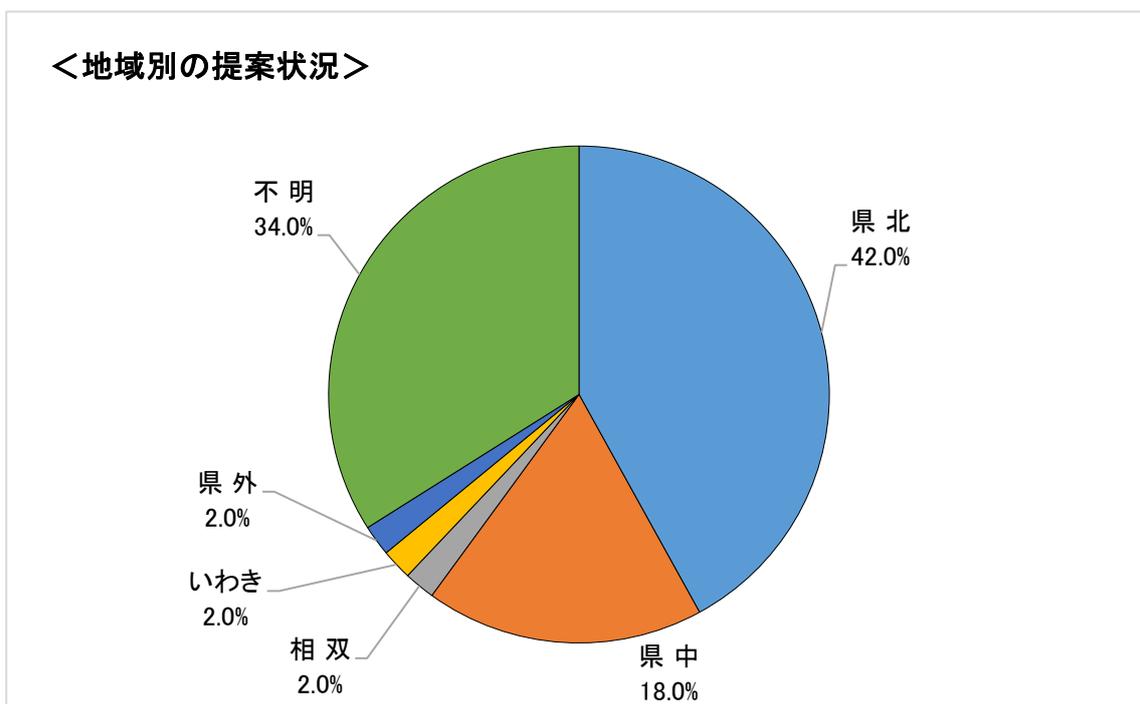
3 地域別（各地方振興局管内等）の提案状況

提案者を地域別にみると、県北地域が21件[※]と最も多く、次いで地域不明が17件、県中地域が8件となっている。

(※：県北地区21件中13件は同一人物からの提案)

(単位:件)

地域別	県北	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき	県外	不明	計
件数	21	9	0	0	0	1	1	1	17	50
構成比	42.0%	18.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.0%	2.0%	2.0%	34.0%	100.0%

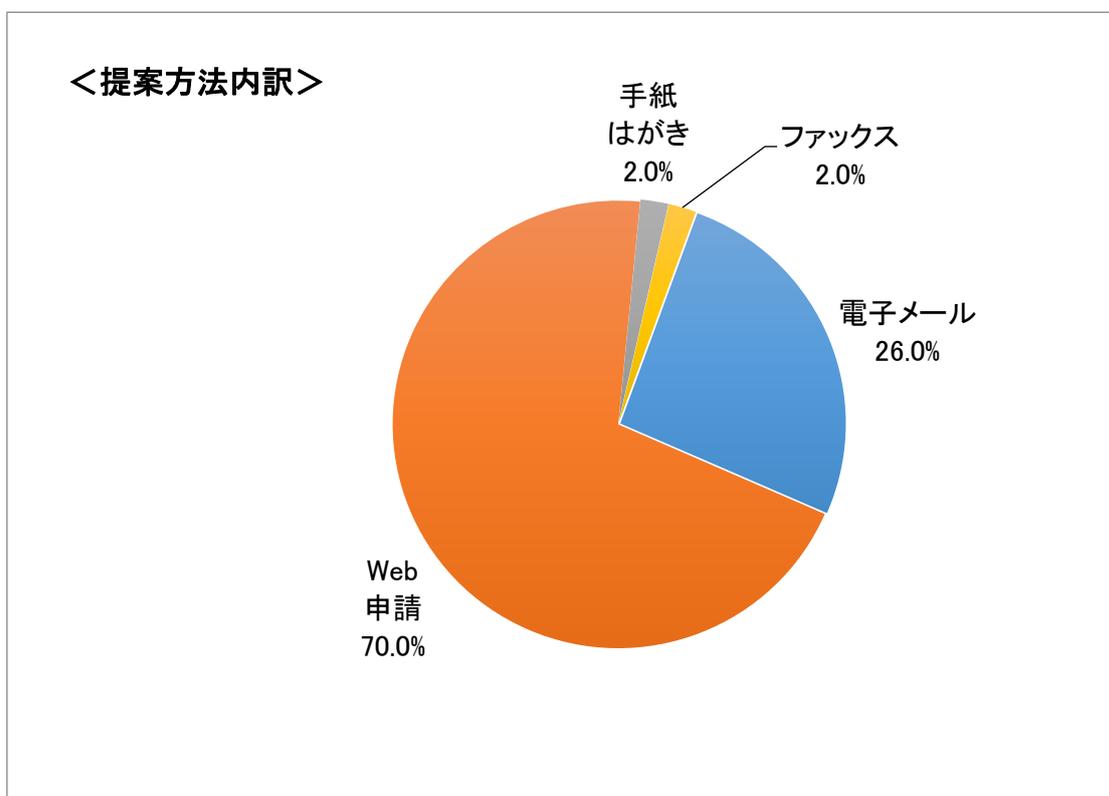


4 提案方法の状況

提案を提案方法別にみると、Web様式が35件と最も多く、次いで電子メールが13件、手紙・はがき及びファックスがそれぞれ1件であった。

(単位:件)

媒体別	電子メール	Web申請	手紙 はがき	ファックス	その他	計
件数	13	35	1	1	0	50
構成比	26.0%	70.0%	2.0%	2.0%	0.0%	100.0%



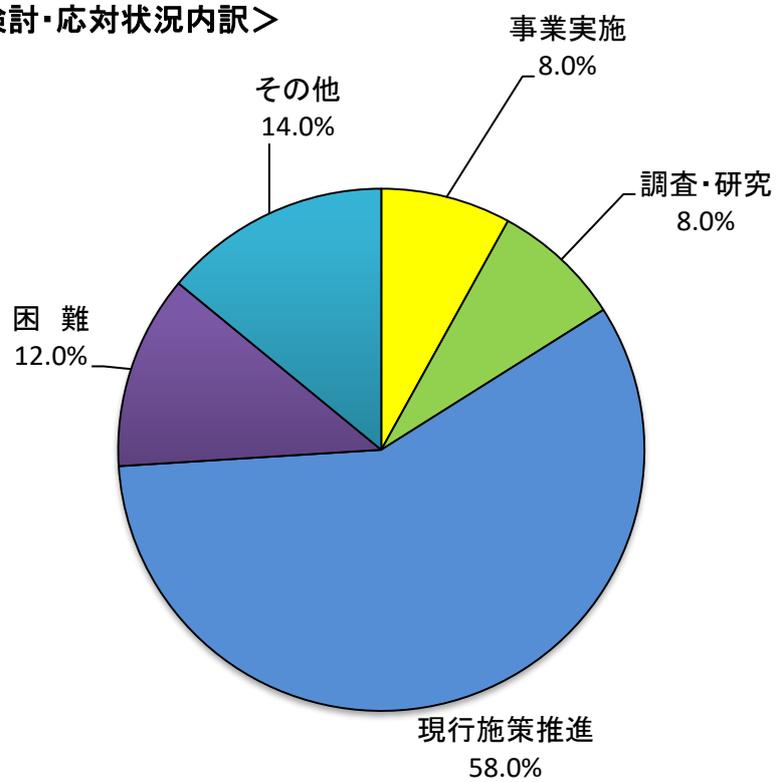
5 県民提案の検討・対応状況〔総括表〕

寄せられた提案について担当部局で検討の結果、事業実施となったものは4件であった。

(単位:件)

処理区分	事業実施	調査・研究	現行施策推進	困難	その他	計
件数	4	4	29	6	7	50
構成比	8.0%	8.0%	58.0%	12.0%	14.0%	100.0%

<県民提案の検討・対応状況内訳>



6 県民提案 案件一覧

No.	受付日	件 名	主たる 担当部局名
1	令和3年 4月5日	TOKIO課とのコラボについて	企画調整部
2	4月5日	高校生のヘルメット着用義務化	教育委員会
3	4月9日	県道17号上り方面 図景二丁目交差点について	県警察本部
4	4月16日	風評被害対策について	総務部
5	4月5日	社会人リカレント教育	総務部 企画調整部
6	4月9日	紙おむつ代購入費補助	保健福祉部
7	5月24日	福島応援寄付金	教育委員会
8	5月28日	中間貯蔵施設の屋根に太陽光発電パネルを	生活環境部
9	5月30日	県営あづま陸上競技場について	土木部
10	6月5日	人間と動物との共生社会実現	保健福祉部 土木部
11	6月4日	令和3年度毒物劇物取扱者試験の件	保健福祉部
12	6月16日	野良猫を地域猫に	保健福祉部
13	6月22日	東日本大震災で支援した人々・国々への感謝	企画調整部
14	6月24日	被災12市町村への移住・定住の要件について	企画調整部
15	6月30日	復興関連動物愛護施策	保健福祉部
16	7月2日	動物愛護予算対策	保健福祉部
17	7月2日	職員のパワハラ	総務部
18	7月5日	福島健民カードを使った動物愛護施策	保健福祉部
19	7月5日	ペット里親制度	保健福祉部
20	7月8日	福島県環境アプリ	生活環境部
21	7月11日	温暖化対策と騒音対策	生活環境部
22	7月12日	医療人材確保について	保健福祉部
23	7月18日	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	保健福祉部
24	7月26日	テトラパックのリサイクル	生活環境部
25	8月12日	郡山市内県道297号の冬季渋滞について	土木部

No.	受付日	件 名	主たる 担当部局名
26	8月26日	電気自動車普及促進	企画調整部 生活環境部
27	8月26日	ヒートアイランド抑制対策	教育委員会
28	8月17日	県民広聴室の職員増について	総務部
29	9月10日	温暖化対策と節電対策	生活環境部
30	9月15日	侵略的外来種の福島県侵入について	生活環境部
31	10月11日	同性パートナーシップ制度を導入してください	男女共生課
32	10月15日	愛知県のエキノコックス	保健福祉部
33	10月19日	障がい者支援、援助、人材育成	保健福祉部
34	10月27日	節水対策と災害対策	教育委員会
35	11月9日	小児整形分野の成人患者のリハビリについて	保健福祉部
36	11月17日	県営住宅への精神障がい者・知的障がい者の単身入居について	土木部
37	11月17日	原子力災害伝承館の展示等に関する意見・提案	企画調整部
38	12月10日	ゴミの自動回収機	生活環境部
39	12月10日	教職員の業務・労働環境	教育委員会
40	12月20日	安達太良山登山道整備について	生活環境部
41	令和4年 1月11日	土曜日閉庁と昼休み窓口業務について	総務部
42	1月14日	「福、笑い」について	農林水産部
43	1月24日	同性パートナーシップ制度の導入	生活環境部
44	1月30日	土日の対応について	生活環境部
45	1月30日	スーパー銭湯等の入浴施設において、 異性の従業員が入室してくる件の改善について	保健福祉部
46	2月4日	新型コロナ感染症対策アドバイザーについて	保健福祉部
47	3月2日	福島県の復興とアイデンティティの明確化	農林水産部
48	3月9日	県民ホールの利活用について	総務部
49	3月22日	県議会選挙の立候補条件についての提案	選挙管理委員会 県議会
50	3月29日	AMラジオ放送の存続のための補助制度について	危機管理部 企画調整部

7 事業実施となった主な提案及び回答

風評対策について

(提案)

私は、福島県内在住の一消費者です。

今回、「県民提案」なる制度があることを知り、ふだんから感じていたことを基に原発事故の風評対策について、提案させていただきます。

福島県では、原発事故の風評被害により、県内外で県産の食品等を敬遠する風潮が今なお続いています。

私も原発事故直後は、県産の食材はできるだけ購入を控えておりましたが、今は、積極的に購入するようにしています。

ご存じかもしれませんが、今年2月に発表された消費者庁の風評被害による消費者意識の実態調査によると、放射性物質を理由に購入をためらう産地として福島県と回答した人の割合が8.1%となり、過去最小になったそうです。県民としても本当に喜ばしいことです。

しかしながら一方で、私の周囲にも未だ福島県産の農産物や海産物等を食したり、購入することをためらう方が少なくありません。

また、福島県では、国内外に向けた風評対策や、県産品のPRは積極的に行っているようですが、県内に向けては手薄のように思われます。県外の方に県産の物を勧め、県民が県外産を好むというのは笑えない話だと思います。

そこでまずは、福島県民に対して風評の意識調査等を行い、その実態をしっかりと把握した上で県内においても風評対策を行っていくべきではないでしょうか。

(令和3年4月16日)

(回答1/2)

風評対策について、ご提案ありがとうございます。

風評対策につきましては、いただいたご意見のとおり、これまでの関係機関が一丸となった取組により県産農産物の輸出量やインバウンドが震災前の水準を超えるなど着実に成果が現れています。

しかし一方で、本県の農林水産物や観光への風評による影響は今も続いており、さらに現在は、コロナ禍の影響により、直接対面して思いを伝える機会が減少しているほか、時間の経過により、福島県への関心や応援意向が低下するなど風化も進行しています。

これら二つの逆風に打ち勝つためには、長期にわたる粘り強い取組とともに、新しい生活様式など様々な社会変容に対応した情報発信が必要となっています。

このため、この十年間の取組とその成果、課題を整理するとともに、直接影響を受けている関係者からのご意見や流通実態調査などの各種調査結果を基に分析・検証した上で、昨年度末に風評・風化対策強化戦略を改定し、取組の更なる強

化を図ることとしました。

引き続き、国や市町村、応援いただく企業等との連携を強化しながら、県内外への正確な情報発信に努めてまいります。

(令和3年4月30日 総務部広報課)

(回答2/2)

風評対策について、御提案ありがとうございます。

県民の皆様の意識を把握して風評対策に取り組むことは、県としても大変重要と認識しております。

このため、県では、県政世論調査や各部局で独自に実施している実態調査のほか、福島県消費者団体連絡協議会で実施している「放射能による風評等に関するアンケート」等により、県民の皆様の県産農産物の購入意向や購入経験等の把握に努めております。

■福島県「県政世論調査」

■福島県消費者団体連絡協議会「放射能による風評等に関するアンケート」

これらの結果から、県としましても、多くの方が積極的に県産食材を購入している一方で、積極的には県産食材を購入されない方が一定程度いらっしゃることを認識しております。

そのため、県内の量販店や直売所の店頭で、県民の皆様が、県産農産物等の安全性やおいしさ、魅力に触れる機会を積極的に設けるなど、県内の消費拡大を図る取組を実施するほか、下記のホームページやSNS等により、県産農産物等の魅力の発信に努めております。

■ふくしまプライド

■LINE 「食とふるさと新生運動」

■クックパッド 福島県公式キッチン「はら食っち～な ふくしま」

また、県内での県産農産物等の消費拡大のためには、地元産を誇れる環境を拡大することが有効であることから、保育所や幼稚園、学校給食での県産食材の活用を通じて、幼少期から旬の県産農林水産物と触れ合う機会を創出し、理解を深めながら地元産の魅力を浸透させる取組を進めております。

今後も、県民の皆様の意向を積極的に伺いながら、県産農産物等の情報発信や地産地消の推進に努めてまいりますので、引き続き県産農産物等への御愛顧をどうぞよろしくお願いいたします。

(令和3年4月30日 農林水産部 農産物流通課)

郡山市内県道297号の冬季渋滞について

(提案)

郡山市美術館通りから三春町方面へ向かうと、郡山市東部広域農道と県道297号線の交差点があります。

こちらの交差点は狭く、右折車がいると季節を問わず渋滞が起こっています。

特に冬期間は顕著で、坂で止まって発進ができない車両が毎日のように発生しています。

美術館通りまで渋滞することも珍しくなく、右折車両への配慮や、ロードヒーター設置などを検討いただければと思います。

(令和3年8月12日 20代 県中方部)

(回答)

郡山市内県道297号の冬期渋滞についてお答えいたします。

右折車両の配慮について、県内において優先度の高いところから交差点の改良を進めているところであり、引き続き、歩行者や自動車の利用状況、他の事業工区の進捗状況等を総合的に判断しながら、整備の必要性について検討してまいります。

ロードヒーター設置について、建設費用とメンテナンス費用が多いためことから、交通量及び安全性の観点から総合的に判断し、整備の必要性について検討してまいります。

(令和3年8月27日 土木部 道路管理課)

新型コロナ感染症対策アドバイザーについて

(提案)

福島県職員の皆さん、連日の新型コロナ対応、大変お疲れさまです。

新型コロナへの対応で一つ提案があります。

私は、これまでユーチューブで幾度か、福島県の新型コロナの本部員会議というものを拝見したことがあるのですが、その中で、特に感染症対策アドバイザーである金光教授が発言されているお話をお聴きして、自身の感染防止対策の参考にさせていただいております。

また、金光教授のお話は、私達一般人にも分かりやすい内容であると同時に、内堀知事の発言とはまた少し角度を変えて、聴く者の心に響く言葉を発せられることから、興味深くお聴きしております。

そこで、現在、福島県のホームページには、新型コロナの関連情報ポータルサイトが開設されていますが、その中に例えば『感染症対策アドバイザーからのワンポイントアドバイス』や『感染症対策アドバイザーから一言』のようなコーナーを設けて、金光教授が本部員会議で発言された内容を県民へ情報発信してみたいかがでしょうか。

本部員会議の翌日の新聞やテレビニュースでも、時折、金光教授の発言が報道されることもありますが、その一時の報道だけでは、大変もったいないと思うのです。

感染症対策アドバイザーの声は、本部員会議に出席されている関係者の皆さんだけがお聴きするためのものではなく、本来、県民にこそ広く伝えられるべきものと思います。

是非、専門家である金光教授のインパクトのある有益なお話をホームページ上に文字情報として公開し、今後の新型コロナ感染症の拡大防止のためにご活用されることを提案させていただきます。

(令和4年2月4日 県北方部)

(回答)

新型コロナ感染症対策アドバイザーについて、ご提案ありがとうございます。

ご存じのように、福島医大感染制御学講座の金光敬二教授には、県の新型コロナ感染症対策アドバイザーを務めていただいております。新型コロナウィルス感染症対策本部員会議では、感染症対策等について専門的知見に基づいた有意義なご発言をいただいております。

ご提案のとおり、教授の有意義なご発言を、新聞やテレビの報道だけに留めるのではなく、これからは県のホームページの「新型コロナ関連情報ポータルサイト」で本部会議の資料とともに、どうしてこの発言に至ったかが分かるように会議議事録を掲載し、文字情報として広く県民の皆さんへ発信していきます。

今後とも、県民の皆さん、事業所の皆さん、また医療関係者の皆さんと、一丸となって新型コロナウィルス感染症対策の取組を進めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いします。

(令和4年2月22日 新型コロナウィルス感染症対策本部 総括班)

県民ホールの利活用について

(提案)

県庁の西庁舎2階の県民ホールについて、一つ提案があります。

先日、新しく改装された県民ホールに立ち寄ったところ、広々とゆったりとして、待ち合わせや休憩スペースとしては、快適な場所であると感じました。また、ホール内には、各種のチラシやパンフレットも数多く置かれているほか、県産品等が紹介されているコーナーもあるのですが、まだまだ空間を持って余しているような印象を受けました。そこで、提案なのですが、県民ホール内に「市町村PRコーナー」を新たに設けてみてはいかがでしょうか。

具体的には、ホール内の一角にパンフレットスタンドを設置し、市町村ごとに一つずつ棚を割り振り、そこへ市町村が毎月発行している市町村民だよりの最新号を展示するというものです。

私もこれまで県内の複数市町村で生活した経験があり、転居先で市町村民だよりを読んでまいりましたが、季節に応じた観光や食の情報を始め、その土地の文化や歴史の特集など、その市町村を知る上で有益な情報を得ることができました。また、表紙に使われている写真についても、季節に応じて地域色にあふれた見応えのあるものが使われており、それら59市町村の市町村民だよりがパンフレットスタンドに一同に並ぶ様は、おそらく書店の旅行ガイドコーナーのようで、ホール内でも見栄えがし、賑わいある雰囲気づくりにも寄与できるのではないかと思います。そして、展示に際しては、各市町村ごとの棚に、最新号とは別に、バックナンバー（11ヶ月分）もクリアケースファイルに入れて設置することにより、59市町村の春夏秋冬、1年の季節を巡る地域情報をまとめて情報発信してみてもはいかがでしょうか。

以上、「市町村のPR支援」と「県民ホール機能の充実」を図る本提案について、ご検討いただければ幸いです。

(令和4年3月9日 50代 県北方部)

(回答)

「市町村のPR支援」と「県民ホール機能の充実」について、お答えいたします。

ご提案いただきました市町村のPR支援につきましては、市町村や関係課と調整の上、県庁西庁舎2階の県民ホールに市町村の広報誌が閲覧できるブースの設置を検討いたします。

今後とも県民ホールを有効に活用し、県や市町村の情報を発信するなど、県民ホール機能の充実を図ってまいります。

(令和4年3月29日 総務部 市町村行政課)